

05 小学生作文「僕の好きな色」

(ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。

5 今日小学生の作文を朗読します。

ぼくは、一年生ぐらいの時、好きな色はピンク色でした。でも、周りの子からは、

「ピンク色が好きな男の子っておかしくね。」

10 なんてピンク色が好きなの。」

など、男の子がピンク色が好きなのはおかしいと言われました。そこで、「差別」というのは生まれた場所や、病気にかかっている人が受けるものだと思っていました。が、「男らしい」や「女らしい」なども差別に入ることを知りました。

15

今でもピンク色が好きですが、からかわれた後から、青色や、白色が好きになりました。なぜなら、何度もからかわれるうちにイヤになって、人に合わせた方がからかわれるより、楽だったからです。なぜ、からかわれるのかよく分かりません。それは色ではなくても好きなものは一人一人ちがい、色でも、人によれば水色が好き、人によれば緑色が好きなど、色でも一人一人好みがあるからです。男の子は水色や青色で、女の子が赤やピンクが好きなのは多いけど、多いからといって、おかしいと言ったり、からかったりするのには、相手がきずつくので、相手のきずつく言葉や、みんなとちがうからと

25

行って、からかったりするの、やめていきたいと思えます。

周りがからかうのではなく、

「ピンク色が好きなんだ、ステキだね。」

30 「ピンク色っていい色だよね。」

など、きずつく言葉ではなく、「ステキ」や、「いいね」などのふわふわ言葉をたくさん言って、ちくちく言葉を言わないような優しい人が一人でもふえていったらいいとぼくは思います。